

2021 Spring
Japanese Language Course
Syllabus

2021 年度 前期

国際教育センター開講

日本語科目

シラバス

2021 年 3 月 20 日版

【Spring Semester】

Type	Type (Japanese)	Class Title	Class Title (Japanese)	Level	Instructor	Instructor (Japanese)	Number of classes per week	Day & Period	Credit	Note
Compulsory (Basic)	必修 基礎	Japanese (1) I	日本語総合 (1) I	1		山下 順子 吉田 結 片山 智子	4	—	—	Not Offered
Compulsory (Basic)	必修 基礎	Japanese (2) I	日本語総合 (2) I	2		Junko Yamashita Yu Yoshida Tomoko Katayama	5	Mon 2 Tue 2 Wed 2 Thu 2 Fri 2	5	
		Kanji & Vocabulary (2) I	漢字・語彙 (2) I			Etsuko Kouda	1	Tue 3	1	
Compulsory (Basic)	必修 基礎	Japanese (3) I	日本語総合 (3) I			Junko Yamashita Yu Yoshida	3	Mon 2 Tue 2 Fri 2	3	
		Speaking & Communication (3) I	話す (3) I	3		Yasuo Iwasa	1	Thu 2	1	
		Writing Skills (3) I	書く (3) I			Shigeko Endo	1	Wed 2	1	
		Kanji & Vocabulary (3) I	漢字・語彙 (3) I			Yu Yoshida	1	Tue 3	1	
Compulsory (Basic)	必修 基礎	Japanese (4) I	日本語総合 (4) I			Mari Kawakami Naoko Morikawa	3	Mon 2 Tue 2 Fri 2	3	
		Speaking & Communication (4) I	話す (4) I	4		Yu Yoshida	1	Thu 2	1	
		Writing Skills (4) I	書く (4) I			Naoko Morikawa	1	Wed 2	1	
		Kanji & Vocabulary (4) I	漢字・語彙 (4) I			Wu Chiayinn	1	Mon 3	1	
Compulsory Elective (Advanced)	選択 必修 発展	Academic Speaking Skills (5) I	討論・スピーチ (5) I			Tomoko Katayama	1	Thu 2	2	
		Reading Comprehension (Media) (5) I	新聞・評論を読む (5) I			Yasuo Iwasa	1	Fri 2	2	
		Academic Writing Skills (5) I	アカデミックライティング (5) I	5		Mari Kawakami	1	Wed 2	2	
		Pronunciation & Listening Comprehension (5) I	発音・聴解 (5) I			Wu Chiayinn	1	Mon 2	2	
		Reading Comprehension (Literature) (5) I	日本文学を読む (5) I			Etsuko Kouda	1	Tue 2	2	
Compulsory Elective (Advanced)	選択 必修 発展	Academic Skills A (6) I	アカデミックスキルズA (6) I	6		Junko Yamashita	1	Mon 3	2	
		Academic Skills B (6) I	アカデミックスキルズB (6) I			Naoko Morikawa	1	Wed 3	2	
		JLPT N1 Preparation and Training I	日本語能力試験N1 I	4-		Mari Kawakami	1	Tue 3	2	
		JLPT N2 Preparation and Training I	日本語能力試験N2 I	3-		Shigeko Endo	1	Wed 3	2	
		Extensive Reading I	多読 I	2-		Mari Kawakami	1	Wed 4	2	
		Role-play I	ロールプレイ I	3-		Mari Kawakami	1	Fri 3	2	
		Japanese for Business I	ビジネス日本語 I	5-		Junko Yamashita	1	Thu 3	2	
		Contemporary Topics in Japanese Society I	日本事情 I	2.3		Tomoko Katayama	1	Thu 3	2	

【Fall Semester】

Type	Type (Japanese)	Class Title	Class Title (Japanese)	Level	Instructor	Instructor (Japanese)	Number of classes per week	Day & Period	Credit	Note
Compulsory (Basic)	必修 基礎	Japanese (1) II	日本語総合 (1) II	1			4	—	—	Not Offered
		Kanji & Vocabulary (1) II	漢字・語彙 (1) II			山下 順子 吉田 結 片山 智子	1	—	—	
Compulsory (Basic)	必修 基礎	Japanese (2) II	日本語総合 (2) II	2		Junko Yamashita Yu Yoshida Tomoko Katayama	5	Mon 2 Tue 2 Wed 2 Thu 2 Fri 2	5	
		Kanji & Vocabulary (2) II	漢字・語彙 (2) II			Etsuko Kouda	1	Tue 3	1	
Compulsory (Basic)	必修 基礎	Japanese (3) II	日本語総合 (3) II			Junko Yamashita Yu Yoshida	3	Mon 2 Tue 2 Fri 2	3	
		Speaking & Communication (3) II	話す (3) II	3		Yasuo Iwasa	1	Thu 2	1	
		Writing Skills (3) II	書く (3) II			Shigeko Endo	1	Wed 2	1	
		Kanji & Vocabulary (3) II	漢字・語彙 (3) II			Yu Yoshida	1	Tue 3	1	
Compulsory (Basic)	必修 基礎	Japanese (4) II	日本語総合 (4) II			Mari Kawakami Naoko Morikawa	3	Mon 2 Tue 2 Fri 2	3	
		Speaking & Communication (4) II	話す (4) II	4		Yu Yoshida	1	Thu 2	1	
		Writing Skills (4) II	書く (4) II			Naoko Morikawa	1	Wed 2	1	
		Kanji & Vocabulary (4) II	漢字・語彙 (4) II			Wu Chiayinn	1	Mon 3	1	
Compulsory Elective (Advanced)	選択 必修 発展	Academic Speaking Skills (5) II	討論・スピーチ (5) II			Tomoko Katayama	1	Thu 2	2	
		Reading Comprehension (Media) (5) II	新聞・評論を読む (5) II			Yasuo Iwasa	1	Fri 2	2	
		Academic Writing Skills (5) II	アカデミックライティング (5) II	5		Mari Kawakami	1	Wed 2	2	
		Pronunciation & Listening Comprehension (5) II	発音・聴解 (5) II			Wu Chiayinn	1	Mon 2	2	
		Reading Comprehension (Literature) (5) II	日本文学を読む (5) II			Etsuko Kouda	1	Tue 2	2	
Compulsory Elective (Advanced)	選択 必修 発展	Academic Skills A (6) II	アカデミックスキルズA (6) II	6		Junko Yamashita	1	Mon 3	2	
		Academic Skills B (6) II	アカデミックスキルズB (6) II			Naoko Morikawa	1	Wed 3	2	
		JLPT N1 Preparation and Training II	日本語能力試験N1 II	4-		Mari Kawakami	1	Tue 3	2	
		JLPT N2 Preparation and Training II	日本語能力試験N2 II	3-		Shigeko Endo	1	Wed 3	2	
		Extensive Reading II	多読 II	2-		Mari Kawakami	1	Wed 4	2	
		Role-play II	ロールプレイ II	3-		Mari Kawakami	1	Fri 3	2	
		Japanese for Business II	ビジネス日本語 II	5-		Junko Yamashita	1	Thu 3	2	
		Contemporary Topics in Japanese Society II	日本事情 II	2.3		Tomoko Katayama	1	Thu 3	2	

科目種別 Course Type	必修・基礎 Compulsory (Basic)	レベル Level	2
科目名 Course Title	日本語総合 (2) I Japanese (2) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	山下 順子、吉田 結、片山 智子 Junko Yamashita、 Yu Yoshida、 Tomoko Katayama	単位数 Credit	5
〔テーマ・概要〕 しよきゆうこうはん 初級後半 そうごうてき レベルの総合的な日本語			
〔到達目標〕 ・ しよきゆうこうはん 初級後半レベルの日本語を べんきよう 勉強して、 ちゅうきゆう 中級レベルを めざ 目指す。 ・ あた 新 ぶんけい しい文型・ ぶんぽう 文法や ことば 言葉、 かんじ 漢字を理解し、 つか 使えるようになる。 ・ じぶん 自分のこと (くに 国や まち 町、 りょうり 料理、 せいかつ 生活、 けいけん 経験など) を はな 話すことができるようになる。 ・ ほか 他の人と ひと 話し合い、 はな 考えや あ 意見を かんが 伝えられるようになる。			
〔授業の計画〕 ・ きょうかしよ 教科書の各課で以下を べんきよう 勉強します。 ① ぶんけい 文型・ ぶんぽう 文法の れんしゅう 練習 ② かくにん 確認・ ふくしゅう 復習 ③ ほんぶんかいわ 本文会話・ はつびよう 発表 ④ ふ 振り返り ・ テストが2回あります (ちゅうかん 中間・ きまつ 期末)。 かみ 紙の かいわ テストと会話テストをします。 ・ きょうかしよ 教科書や きょうざい 教材を使って、 つか 読んだり よ 聞いたり、 き 話したりする はな 練習 れんしゅう をします。			
〔授業の方法〕 ・ べんきよう 勉強した ぶんぽう 文法や ひょうげん 表現を使って、 ぎのう 4技能 (よ 読む、 き 聞く、 はな 話す、 か 書く) の れんしゅう 練習をします。 ・ はつびよう スピーチや さくぶん 発表、 れんしゅう 作文の練習もします。			
〔準備学習等の内容〕 じゅぎょう 授業で言います。			
〔成績評価の方法〕 しゅつせき 出席 20%、 しゅくだい クイズと宿題 30%、 さんかど テスト 40%、 さんかど クラスの参加度 10%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 しよきゆうぜんはん 初級前半レベルの がくしゅう 学習が終わっていたほうがいいです。			
〔テキスト〕 1 回目の じゅぎょう 授業で言います。			
〔参考書〕 なし			

科目種別 Course Type	必修・基礎 Compulsory (Basic)	レベル Level	2
科目名 Course Title	漢字・語彙 (2) I Kanji&Vocabulary (2) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	行田 悦子 Etsuko Koda	単位数 Credit	1
〔テーマ・概要〕 ・ 初級レベルの漢字とことばを楽しく勉強します。 ・ 日本語能力試験 (JLPT) N4 レベルの漢字300 字ぐらい、ことば 1500 語ぐらい。			
〔到達目標〕 ・ 漢字・ことばを覚えて、読んだり書いたりできる。 ・ 毎日の生活で見る漢字・ことばの意味がわかって、楽しく生活できる。 ・ インターネットやスマホなどの辞書を使って、自分で勉強することができる。			
〔授業の計画〕 第1回 ガイダンス、レベルチェック 漢字・ことば (1) 第2～6回 小テスト、漢字・ことば (2) ～ (6) 第7回 中間試験 (Mid-term exam) 第8～12回 小テスト、漢字・ことば (7) ～ (11) 第13回 期末試験 (Final Exam) 第14回 フィードバック			
〔授業の方法〕 ・ 講義 (lecture) + スモールステップで自分のペースで学ぶセルフスタディースタイル ・ 復習クイズ → 今日の漢字・ことば → 読む・書く・話す練習 ☆ ペアワーク、グループワークなどの活動 (activity) もします。			
〔準備学習等の内容〕 ・ 毎回、小テストをします。勉強した漢字・ことばを復習してください。			
〔成績評価の方法〕 参加度15% 小テスト20%、課題20%、中間試験20%、期末試験25% を総合的に判断する。			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 ・ ひらがな・カタカナが読める、書ける。漢字が100～150字ぐらい読める。			
〔テキスト〕 1回目のクラスで言います。			
〔参考書〕 1回目のクラスで言います。辞書・電子辞書、筆順アプリなど			

科目種別 Course Type	必修・基礎 Compulsory (Basic)	レベル Level	3
科目名 Course Title	日本語総合 (3) I Japanese (3) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	山下 順子、吉田 結 Junko Yamashita、 Yu Yoshida	単位数 Credit	3
[テーマ・概要] 中 級 レベルの総合的な日本語			
[到達目標] ・ 中 級 前半レベルの総合的な日本語を習得する。 ・ 新しい文型・文法や語彙を理解し、使えるようになる。 ・ まとまった長さの文章を読み、内容や構成を理解する。また、文章をまとめたり意見を言ったりできるようになる。 ・ 他の人と話し合い、考えや意見を伝えられるようになる。			
[授業の計画] 教科書の各課で以下を勉強します。 ①本文の大意把握 ②文型・文法や語彙学習 ③本文理解 ④応用練習 ・ テストが2回あります (中間テスト・期末テスト)。 ・ 教科書や教材を使って、読んだり聞いたり、話したりする練習をします。			
[授業の方法] ・ 勉強した文法や表現を使って、4技能 (読む、聞く、話す、書く) の練習をします。 ・ 教科書のそれぞれの課の語彙や漢字を勉強します。 ・ 応用練習では、作文や聴解、スピーチ、発表などを行います。			
[準備学習等の内容] 授業で言います。			
[成績評価の方法] 出席 20%、クイズと宿題 30%、テスト 40%、クラスの参加度 10%			
[成績評価の基準] 成蹊大学の成績評価基準 (学則第 39 条) に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
[必要な予備知識／先修科目／関連科目] 初級前半レベルの学習が終わっていたほうがいいです。			
[テキスト] 1 回目の授業で言います。			
[参考書] なし			

科目種別 Course Type	必修・基礎 Compulsory (Basic)	レベル Level	3
科目名 Course Title	話す (3) I Speaking&Communication (3) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	岩佐 靖夫 Yasuo Iwasa	単位数 Credit	1
〔テーマ・概要〕 さまざまな場面でのコミュニケーション、口頭表現能力、伝えるための発音・話し方			
〔到達目標〕 ・アクセントをはじめとする発声練習を通し、聞き手に円滑に会話内容を伝えることができる。 ・日本語でよく使われる会話文をもとに、よりよい口頭表現が行えるようになる。 ・日常生活のいろいろな場面で、円滑なコミュニケーションができるようになる。 ・身近な事柄について聞き手に分かりやすいスピーチや発表が行えるようになる。			
〔授業の計画〕＊授業の進み方によっては変わることがあります。 第1・2・3回 オリエンテーション、電車に乗る、道や場所を尋ねる 第4・5・6・7回 買い物、郵便局、レストラン、病院、スピーチ・発表 第8、9、10回 電話をかける、待ち合わせ(る)、忘れ物について聞く、スピーチ・発表 第11、12回 故障・トラブル、頼む・お願いする、誘う・断る、希望を述べる 第13、14回 相談する、許可・禁止・注意、期末テスト			
〔授業の方法〕 日常生活のいろいろな場面を想定した会話練習を行います。 ・単語レベルでのアクセントの規則を習得し、聞き手に短文で効果的に伝えられる練習を行います。 ・日本語の特徴的な発音の規則について習得し、聞き手が理解できる会話の練習を行います。 ・使用回数の高い会話文や談話構成について学習し、一般手的な会話表現について習得します。 ・日々の学習のまとめとして短い談話作成を行い、効果的な話し方を覚えます。			
〔準備学習等の内容〕 必要なときに連絡します。			
〔成績評価の方法〕 出席 20%、課題 10%、授業への参加度 10%、小テスト 20%(2回)、期末テスト 40%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準（学則第 39 条）に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 初級レベルの学習を終えていることが望ましい。			
〔テキスト〕 初回の授業で指示します。			
〔参考書〕 必要な折に授業で紹介します。			

科目種別 Course Type	必修・基礎 Compulsory (Basic)	レベル Level	3
科目名 Course Title	書く (3) I Writing Skills (3) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	遠藤 樹子 Shigeko Endo	単位数 Credit	1
〔テーマ・概要〕 今まで、または新しく習った言葉・表現・文法を使って、400～800 字程度の文章^{ぶんしょう}を書く練習をする。			
〔到達目標〕 ・ 作文を書くときの基本的なルールを身につける。 ・ 中級レベルの言葉・表現・文法を使って、間違いの少ない文が書けるようになる。 ・ 構成を考えて、読む人がわかりやすい文章が書けるようになる。 ・ 日常的によく使うメール文が書けるようになる。			
〔授業の計画〕 第 1 回 原稿用紙^{げんこうようし}の使い方のルール、自己紹介文を書く 第 2～3 回 メール文を書く 第 4～6 回 身近な話題について書く 第 7 回 中間テスト 第 8～10 回 説明文を書く 第 11～12 回 意見文を書く 第 13 回 期末テスト 第 14 回 フィードバック、総まとめ			
〔授業の方法〕 ・ 作文のトピックについて、クラス全体で話し合い、メモを作る。 ・ 作文を書くために必要な言葉・表現、文章の構成^{こうせい}を学んだ後、作文を書く。 ・ 教師やクラスメートからフィードバックを受けて、作文を書き直す。			
〔準備学習等の内容〕 作文は基本的に宿題として書いてくることが求められる。			
〔成績評価の方法〕 出席 20%、中間・期末テスト 30%、課題の提出 30%、授業への参加度 20%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準（学則第 39 条）に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 初級レベルの学習を終えていることが望ましい。			
〔テキスト〕 なし			
〔参考書〕 なし			

科目種別 Course Type	必修・基礎 Compulsory (Basic)	レベル Level	3
科目名 Course Title	漢字・語彙 (3) I Kanji & Vocabulary (3) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	吉田 結 Yu Yoshida	単位数 Credit	1
〔テーマ・概要〕 ・日本語中級の学生が、色々なテーマに合わせて必要な漢字・語彙を学ぶ。 ・日本語能力試験 (JLPT) N3 レベルの漢字 350 字ぐらい。 ※日本語能力試験のためのクラスではありません。			
〔到達目標〕 ・中級レベルの漢字・語彙を増やし、自分にあった学習方法をみつける。 ・場面や文脈にふさわしい漢字・語彙を理解し、使い分けられるようになる。 ・日本での生活に必要な漢字・語彙を正しく読み・書き・使う力を身につける。			
〔授業の計画〕 クラスの様子に合わせて、変わる可能性があります。 第1回 オリエンテーション 第2～6回 1課～5課 小テスト、課ごとのテーマに沿った課題、発表 第7回 中間テスト 第8～12回 6課～10課 小テスト、課ごとのテーマに沿った課題、発表 第13回 期末テスト 第14回 まとめ、振り返り			
〔授業の方法〕 ・毎回1課進み、その課で設けられたテーマに沿って新しい漢字・語彙を学びます。 ・ペア・グループワーク 語彙を広げるタスク活動を行います。 ・予習 (発表)、小テスト、課ごとのテーマに沿った課題			
〔準備学習等の内容〕 ・各回のテーマで扱う漢字は、読み方や意味だけでなく、課題などを通して使い方も覚えましょう。 - また、毎回小テストも行うので、よく復習すること。 ・漢字・語彙クラスのノートを各自用意して下さい。			
〔成績評価の方法〕 出席 20%、小テスト 25%、課題 15%、中間・期末テスト 40%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準 (学則第 39 条) に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 漢字 300 字ぐらい			
〔テキスト〕 『留学生のための漢字の教科書中級 700』 佐藤尚子 図書刊行会			
〔参考書〕 必要な際、授業内で紹介します。			

科目種別 Course Type	必修・基礎 Compulsory (Basic)	レベル Level	4
科目名 Course Title	日本語総合 (4) I Japanese (4) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	川上 麻理、森川 尚子 Mari Kawakami	単位数 Credit	3
〔テーマ・概要〕 中級後半レベルの総合的な日本語の力（読む、書く、聞く、話す）を身につける。			
〔到達目標〕 ・新しい文型・文法や表現や漢字を学び、それが使えるようになる。 ・さまざまなトピック、スタイルの読み物が読めるようになる。 ・自然な速さの日本語を聞いて、必要な情報が取れるようになる。 ・読んだり聞いたりしたものについて、自分の考えや感想を適切な表現を使って話したり書いたりできるようになる。			
〔授業の計画〕 ・教科書の各課で、以下の内容を学習します。 ① 文型・文法や表現 ②本文読解 ③ディスカッション ④聴解 ・各課が終わるごとに、文法・ことばクイズを行う。 ・教科書以外の教材を使って、読んだり聞いたりする練習をする。 ・テストは2回行う（中間・期末）。 * 学生ボランティアとの交流を予定しています。			
〔授業の方法〕 ・本文に出てくる文法、ことば、漢字を勉強し、使えるように練習する。 ・文章の構成を意識しながら、本文を読む。 ・本文の内容を理解し、その内容について説明したりまとめたりする。 ・本文の内容について、クラスメートと意見を交換する。 ・教科書以外の文章を読んだり、ニュース等を聞いたりする。			
〔準備学習等の内容〕 ・予習として、本文を自分で読んでくることが求められる。 ・文法・ことばクイズのために準備をする。 ・各課において、文法、語彙、読解のワークシートを提出する。			
〔成績評価の方法〕 出席 20%、授業への参加度 10%、課題・クイズ 30%、試験 40%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準（学則第 39 条）に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 中級前半の学習を終えていることが求められる。			
〔テキスト〕 初回の授業でテキストについて指示し、くわしいスケジュールを配布する予定。			
〔参考書〕 なし			

科目種別 Course Type	必修・基礎 Compulsory (Basic)	レベル Level	4
科目名 Course Title	話す (4) I Speaking & Communication (4) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	吉田 結 Yu Yoshida	単位数 Credit	1
〔テーマ・概要〕 日本語でのコミュニケーション能力、口頭表現能力（発表）、伝えるための話し方を身につける。			
〔到達目標〕 ・今まで勉強した日本語や授業で習った表現を使って、様々なテーマについて自分の考え、言いたいことがまとまった長さで伝えられるようになる。 ・聞き手のことを考えて、口頭表現（発表）が行えるようになる。 ・意見の交換など、円滑なコミュニケーションができるようになる。			
〔授業の計画〕 第1回 オリエンテーション、ミニスピーチ「自己紹介」スピーチ1 第2・3回 Show & Tell 写真を使って、場所・もの・出来事を紹介 スピーチ2 第4～6回 グラフを使って、日本の国・私の国・世界の国の色々な事情について 発表1 第7～10回 インタビュー（賛成 or 反対、必要 or 不必要、良い or 悪い）発表2 第11～14回 PPT を使って、日本の説明書を作ろう！ 発表3 授業のまとめ、振り返り			
〔授業の方法〕 ・ペアワーク・グループワーク ・必要な表現の学習をして、色々なテーマについてスピーチを作り発表する。 ・発表するために、資料を準備し、話し方の練習をしてから発表する。 ・実際に行ったスピーチ・発表について質問し、答えます。また、スピーチ・発表を振り返り、どのような伝え方がいいか、みんなで考える。 ・授業の中で、簡単な時事問題を取り上げ、自分の意見を話す練習をする。			
〔準備学習等の内容〕 授業の際に指示する。			
〔成績評価の方法〕 出席 20%、参加度・課題 30%、スピーチ・発表 50%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準（学則第 39 条）に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 中級前半の学習が終わっていることが望ましい。			
〔テキスト〕 授業時に必要な資料、担当者作成のハンドアウトを配布する。			
〔参考書〕 なし			

科目種別 Course Type	必修・基礎 Compulsory (Basic)	レベル Level	4
科目名 Course Title	書く (4) I Writing Skills (4) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	森川 尚子 Naoko Morikawa	単位数 Credit	1
[テーマ・概要] 日本語作文の基本的なルールを理解し、アカデミックな文章作成の基礎を学ぶ。			
[到達目標] ・日本語作文の表記や文体などのルールを身につける。 ・作文に必要な文法や表現、段落の構成について理解し、使えるようになる。 ・テーマのある文章の中で、自分の意見をわかりやすく論理的に書けるようになる。 ・マナーに則したメールの書き方ができるようになる。			
[授業の計画] 第 1-3 週 表記・文体・書き言葉、word 入力 第 11 週 小論文の書き方 第 4-5 週 段落構成・主題 第 12 週 接続表現 第 6-7 週 助詞相当語①・理由の表現 第 14 週 小論文発表会 第 8-9 週 定義・助詞相当語② 第 15 週 メールの書き方 第 10 週 引用			
[授業の方法] ・新しい項目の説明を聞き、課題が出た場合は翌週の授業前に提出します。 ・課題作文は、締め切りまでにメール添付で提出し、次の授業でクラスメートと読み合って検討します。検討した内容と先生のコメントをもとに、修正稿を再びメール添付で提出します。 ・最終授業までに、小論文を執筆し、最後に発表会を行います。			
[準備学習等の内容] ・次週に学習する予定の練習問題を予習しておくこと。 ・毎回、作文などの課題があります。授業の時に検討するので、必ず期日までに送信しておくこと			
[成績評価の方法] 出席 30%、参加度 10%、課題（提出・内容・検討評価）40%、期末レポート 20%			
[成績評価の基準] 成蹊大学の成績評価基準（学則第 39 条）に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
[必要な予備知識／先修科目／関連科目] 中級レベルの学習段階（N2 受験準備程度）であることが望ましい。			
[テキスト] 大学・大学院「留学生の日本語」作文編（アルク） その他ハンドアウト			
[参考書] 特になし。			

科目種別 Course Type	必修・基礎 Compulsory (Basic)	レベル Level	4
科目名 Course Title	漢字・語彙 (4) I Kanji&Vocabulary (4) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	呉 佳穎 Wu Chiayinn	単位数 Credit	1
〔テーマ・概要〕 中上級語彙を学びながら、漢字の読み書きや使い方、音・形・意味についての知識を身につける。また、大学生活や学習で必要な語彙についても勉強する。 ※日本語能力試験のための授業ではありません。			
〔到達目標〕 1. 漢字学習に役立つ基本的な情報（形・音・意味）を学ぶ。 2. 大学生活や学習で必要な基礎的な漢字や語彙を正しく理解し、使えるようになる。			
〔授業の計画〕 第1回 ガイダンス、レベルチェック 第2～6回 漢字・語彙テーマ（1）～（5）、クイズ 第7回 中間テスト 第8～12回 漢字・語彙テーマ（6）～（10）、クイズ 第13回 語彙コラム、復習 第14回 期末試験			
〔授業の方法〕 毎回、漢字学習に役立つ情報を説明し、読み書きを練習する。また、大学生の会話を聞きながら、使用された新しい語彙を学ぶ。生教材を使用し文脈から意味を推測するタスクなども行う。			
〔準備学習等の内容〕 毎回小テストを行うため、学んだ漢字と語彙を復習する必要がある。			
〔成績評価の方法〕 出席 20%、授業中の課題 30%、宿題 20%、中間テスト 15%、期末試験 15%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準（学則第 39 条）に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 特になし			
〔テキスト〕 初回の授業で指示する			
〔参考書〕			

科目種別 Course Type	選択必修・発展 Compulsory Elective (Advanced)	レベル Level	5
科目名 Course Title	討論・スピーチ (5) I Academic Speaking Skills (5) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	片山 智子 Tomoko Katayama	単位数 Credit	2
〔テーマ・概要〕 人間関係を維持し育むための、円滑なコミュニケーションを重視した、口頭表現の方法を学ぶ。			
〔到達目標〕 ・社会的なあるいはやや専門的な話題について、聞き手を考慮した説明や描写を使って発表できる。 ・ディスカッションやディベートなど、改まった場面で意見の交換や討論をするための表現や方策を学び、身につける。 ・相手に対する配慮のある助言や説得ができるようになる。			
〔授業の計画〕 受講生の人数やニーズに合わせて、変更する可能性がある。 第1回 オリエンテーション 自己アピール (質問をする+質問に答える) 第2～4回 スピーチの基礎 (構成・聞き手をひきつける工夫)・即興1分間スピーチ わかりやすい説明について (描写・時間の経過・心情の表現) 第4回～5回 ピンポンディベート、レジュメを使った発表 第6回～9回 プレゼンテーション 準備から発表まで 発表にはビジターの参加を予定 (テーマ決定・アウトライン・スライド作成・リハーサル) 第10回～13回 ディスカッション (相談をして意見をまとめる/テーマについて意見を交換する/司会をする) ディベートについて 手順と表現の説明 ディベート準備			
〔授業の方法〕 ・ペアワーク・グループワーク ・(実践 ⇒) 必要な表現の学習と手順の理解 ⇒ 実践 ・教員による評価の前に自己評価をする。 ・プレゼンテーションは、ビジターに参加してもらい発表後に質疑応答の時間も設ける (予定)。			
〔準備学習等の内容〕 ・授業の際に指示する。			
〔成績評価の方法〕 参加度・課題 40%、ディスカッション・ディベート (貢献度と発話) 30%、最終プレゼン 30%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準 (学則第 39 条) に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 中級レベルの学習を終えていること			
〔テキスト〕 授業時に必要な資料・ハンドアウトを配付する			
〔参考書〕 授業時に、オンラインサイトなどを紹介する			

科目種別 Course Type	選択必修・発展 Compulsory Elective (Advanced)	レベル Level	5
科目名 Course Title	新聞・評論を読む (5) I Reading Comprehension (Media) (5) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	岩佐 靖夫 Yasuo Iwasa	単位数 Credit	2
〔テーマ・概要〕 新聞のいろいろな記事・論説文、また書籍における評論を読む。			
〔到達目標〕 新聞記事や新書等の読解を通じて、語彙や文法の知識を増やし、読解能力を高める。 ある程度の長さの論説文・評論文を精読し、細部の内容まで理解できるようになる。 読解を行った記事に対する意見の表明が行えるようになる。			
〔授業の計画〕＊授業の進み方によって変わることがあります。 第1～6回 一般の記事を読む - 政治、経済、地球を取り巻く環境 - 第11回 書籍の評論を読む(2) 第7回 芸術誌の記事を読む 第12回 一般の記事を読む - 娯楽、旅行 - 第8回 一般の広報誌を読む 第13回 朝日新聞『天声人語』を読む 第9回 コラムを読む 第14回 期末試験 第10回 書籍の評論を読む(1)			
〔授業の方法〕 記事内の主要語彙及び関連語彙、文型と関連する文型について学習する。その後、学生が記事を交替する形で音読する。最後に教員が記事を読み、主要な語彙及び文型、記事内容の再確認を行う。以上を各回の授業の基本的な方法として実施する。			
〔準備学習等の内容〕 次回の講義内容までに、配布教材の読解を行ってこることが望ましい。 必要に応じて、漢字・語彙、記事内の文型に関する予習を課す場合がある。			
〔成績評価の方法〕 出席 20%、授業参加度 10%、課題又は小テスト 20%(学期中 2 回)、期末試験 50%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準（学則第 39 条）に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 中級レベルの学習を終えていることが求められる。			
〔テキスト〕 毎回ハンドアウトを配布する。			
〔参考書〕 必要な折に指示する。			

科目種別 Course Type	選択必修・発展 Compulsory Elective (Advanced)	レベル Level	5
科目名 Course Title	アカデミック・ライティング (5) I Academic Writing Skills (5) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	川上 麻理 Mari Kawakami	単位数 Credit	2
〔テーマ・概要〕 レポート作成の基本的な技術、文章能力養成			
〔到達目標〕 レポート作成の基本的な技術を、具体的な作業を経験しながら学ぶとともに、文章能力を高めることを目的とする。			
〔授業の計画〕 レポートを書くために必要な技術を学ぶ。 ・レポートの構成 ・テーマの選び方 ・資料の収集の仕方 ・小論文やレポートで使われる表現 ・アウトライン・序論・本論・結論・参考文献・レジユメの書き方 ・引用・要約・図表の説明の仕方 ＊メールの書き方も学びます。			
〔授業の方法〕 この授業では、学生自身が関心のあるテーマについて、図表などのデータや資料をきちんと説明、分析する形式でレポートを書く。教師が学生の書いたレポートのテーマ、内容、日本語の表現、書式等についてアドバイスするだけでなく、クラスメートとレポートを読んでコメントし合う活動を通して、問題点を発見し、読み手に分かりやすい文章を書く能力や、批判的に読む能力を養う。執筆過程で口頭発表を行い、クラスメートや教師からのコメントを参考にレポートを完成させる。発表の際には、学生ボランティアの参加を予定。 ＊本当に書きたいテーマを見つけて、日本語でレポートを書くことに挑戦してみてください。			
〔準備学習等の内容〕 書く作業は、パソコン教室で行うこともあるが、授業外の作業となることが多い。			
〔成績評価の方法〕 出席・授業への参加度 30%、課題の提出・小テスト 20%、レポート提出・口頭発表 50%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準（学則第 39 条）に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 中級後半レベルの学習を終えていることが求められる。			
〔テキスト〕 佐々木瑞枝ほか『大学で学ぶための日本語ライティングー短文からレポート作成まで』 The Japan Times			
〔参考書〕 適宜、紹介する。			

科目種別 Course Type	選択必修・発展 Compulsory Elective (Advanced)	レベル Level	5
科目名 Course Title	発音・聴解 (5) I Pronunciation & Listening Comprehension (5) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	呉 佳穎 Wu Chiayinn	単位数 Credit	2
〔テーマ・概要〕 聞き手にとって「より聞きやすく、分かりやすい」発音の練習と、ニュースや生の日本語を聞く練習を行う。			
〔到達目標〕 日本語の発音の基礎知識を学び、話し言葉の特徴に慣れ、独話やニュースの内容を把握することができる。また、シャドーイングの練習を通し、イントネーションがより自然でなめらかになることを目標とする。			
〔授業の計画〕 第1回 ガイダンス、聴解タスク①前半 第2回 聴解タスク①後半、発音タスク（日本語の拍）、聴解タスク②前半 第3回 聴解タスク②後半、発音タスク（アクセント）、聴解タスク③前半 第4回 聴解タスク③後半、発音タスク（複合アクセント）、聴解タスク④前半 第5回 聴解タスク④後半、発音タスク（動詞のアクセント）、聴解タスク⑤前半 第6回 聴解タスク⑤後半、発音タスク（有声無声・有気無気）、聴解タスク⑥前半 第7回 聴解タスク⑥後半、復習、聴解タスク⑦前半 第8回 中間テスト 第9回 聴解タスク⑦後半、発音タスク（イントネーション）、聴解タスク⑧前半 第10回 聴解タスク⑧後半、発音タスク（ポーズ）、聴解タスク⑨前半 第11回 聴解タスク⑨後半、課題（進め方の説明）、聴解タスク⑩前半 第12回 聴解タスク⑩後半、課題（テーマの確認）、聴解タスク⑪前半 第13回 聴解タスク⑪後半、復習、課題発表 第14回 期末試験			
〔授業の方法〕 1.聴解：NHK ニュースなどの聞き取りとシャドーイングを行う。タスク①～⑪は、災害・気象・自然・社会・ビジネス・スポーツ・科学・文化などに関する内容を扱う予定である。 2.発音：発音のルールについて、実際に声を出しながらペア練習を行う。 3.課題：履修者自身が関心を持つことをテーマとし、周りの日本人の意見を収集し、クラスで発表・ディスカッションする。			
〔準備学習等の内容〕 1.毎回授業で練習した内容の復習（語彙やシャドーイング）は各自で行うこと。 2.課題のテーマを自ら考え、映像を収集してくること。			
〔成績評価の方法〕 出席 20%、授業中の課題 30%、課題発表 20%、中間テスト 15%、期末試験 15%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準（学則第 39 条）に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 中級レベルの学習を終えていることが求められる。			
〔テキスト〕 授業時に資料を配布			
〔参考書〕 赤木浩文他著『毎日練習！リズムで身につく日本語の発音』スリーエーネットワーク、中川千恵子他著『さらに進んだスピーチ・プレゼンのための日本語発音練習帳』ひつじ書房、NHK NEWS WEB (https://www3.nhk.or.jp/news/movie.html?utm_int=all_header_menu_movie)			

科目種別 Course Type	選択必修・発展 Compulsory Elective (Advanced)	レベル Level	5
科目名 Course Title	日本文学を読む (5) I Reading Comprehension (Literature) (5) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	行田 悦子 Etsuko Kouda	単位数 Credit	2
〔テーマ・概要〕 ・日本語学習者のために書き直したものではなく生の文学作品を読む。 ・日本文学に触れながら、日本語、日本文化・社会への理解を深める。 ・意見交換しながら、多様な解釈を共有することで、異文化、多文化、自己・他者理解をする。 *扱う作品は、後期とは異なる。後期からの継続履修者も歓迎する。			
〔到達目標〕 ・(辞書を引きながら)、きちんと生の文学作品を読み、内容を理解することができる。 ・小説を味わい、その内容について、他の読者と意見を交換しながら、自分の感想が言える。 ・最終的には自ら作品を選び、授業以外でも読書を楽しめるような自律した学習者となる。			
〔授業の計画〕 受講者のレベル・人数により変更することもある。詳細は1回目に説明。 第1回 レベルチェック、コース紹介、読書ノートの書き方 第2～6回 課題1/2 ①読む前に ②内容確認 ③ディスカッション&まとめ 第7回 中間試験 ふりかえり 第8～12回 私の選んだ短編紹介(一人一編) ①発表 ②ディスカッション&まとめ 第13回 期末試験 第14回 ふりかえり フィードバック			
〔授業の方法〕 講義ではなく、話し合い活動中心のクラス。 ・宿題として作品を読み、質問、疑問点を作成してくることを前提に進める。 ・読んだ作品について、自分なりの考えをまとめ「私の読書ノート」を作成する。 ・前半は、指定課題小説を読む。後半は、受講生が選んだ短編小説を使って授業をすすめる。 *クラスメートとのインターアクションを通して学ぶことを大切に考えている。			
〔準備学習等の内容〕 1) 授業に来る前に、(辞書を使って) 作品を読む 2) 読書ノート・質問リストを作成する			
〔成績評価の方法〕 受講者のレベル・構成によって、±5%の調整をすることもある。参加度 25%、課題 15%、短編ブックレビュー(発表) 10%、中間試験 20%、期末試験 30%を総合的に判断する。			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 中級レベルの学習を終えていることが求められる。特に非漢字圏の学生で漢字能力に不安がある者は、受講前に相談すること。			
〔テキスト〕 ハンドアウトを配布			
〔参考書〕 初回に指示			

科目種別 Course Type	選択必修・発展 Compulsory Elective(Advanced)	レベル Level	6
科目名 Course Title	アカデミック・スキルズ A (6) I Academic Skills A (6) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	山下 順子 Junko Yamashita	単位数 Credit	2
〔テーマ・概要〕 大学・大学院で学ぶ際に必要な、聴解・口頭能力を中心とした日本語能力			
〔到達目標〕 - 大学の講義や、専門的な講演やプレゼンテーションを理解できるとともに、聞いた情報をまとめたり他の人に伝達したりすることができる。 - 与えられた情報に基づき、自分の立場を表明し意見を述べるができる。 - 聞き手を意識したプレゼンテーションができる。			
〔授業の計画〕 第1回 オリエンテーション、自己紹介 第2～6回 聴解力の育成（講義の聞き方、レジュメのとり方、内容のまとめ方） 第7～10回 口頭能力の育成（意見陳述、ディベート） 第11～14回 プレゼンテーションの準備（個別指導含む） 第15回 プレゼンテーション、全体の振り返り ※参加者の状況によって内容や進度を変更することがあります。			
〔授業の方法〕 - 講義や講演、プレゼンテーションを聞いて内容を理解する。 - 情報の取捨選択やメモ・レジュメの取り方などを学び、内容をまとめたり伝達したりする練習をする。 - 与えられた情報に基づいて自分の意見や立場を適切に述べ、効果的に表現する練習を行う。 - 伝わりやすい話し方を考え、プレゼンテーションを行う。			
〔準備学習等の内容〕 授業毎に適宜指示する。			
〔成績評価の方法〕 出席 20%、課題 20%、プレゼンテーション 40%、クラスの参加度 20%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 N1に合格している、または、同等のレベルであることが求められる			
〔テキスト〕 必要な資料を授業で配布します。			
〔参考書〕 『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 動画で学ぶ大学の講義』 『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ 聴解 上級』			

科目種別 Course Type	選択必修・発展 Compulsory Elective (Advanced)	レベル Level	6
科目名 Course Title	アカデミック・スキルズ B (6) I Academic Skills B (6) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	森川 尚子 Naoko Morikawa	単位数 Credit	2
〔テーマ・概要〕 大学・大学院で必要なレポート・論文などの読解に必要な能力を高め、書き方のルールに沿って自分の意見を表す。			
〔到達目標〕 1. 新聞コラム、新書など専門的な内容を含んだテーマのある文章が読め、理解できる。 2. 大学・大学院で必要なレポート・論文について、適切な文体・文末表現等を使って自分の主張が書ける。			
〔授業の計画〕 第 1 回 オリエンテーション・自己紹介・文型・表現練習 第 2 回～4 回 読解課題①〔人口問題〕 文型・表現練習 レポート 1(報告型) 第 5 回～8 回 読解課題②〔教育問題〕 文型・表現練習 レポート 2(ブックレポート) 第 9 回～11 回 読解課題③〔雇用問題〕 文型・表現練習 アウトラインの書き方 レポート 3(論文型の期末レポート) 第 12 回～13 回 期末レポート検討 レポートプレゼンテーション 第 14 回 読解課題④〔自由選択〕 発表会			
〔授業の方法〕 1. 社会問題・時事問題などテーマのある読解課題を分担して読み、内容を理解する。 2. レポート・論文を書くのに必要な文型・表現を学び、問題意識をまとめるスキルを磨く。 3. 読解課題の内容から得た情報や自分の専門について、課題を発見し、レポートを執筆する。			
〔準備学習等の内容〕 毎回、授業ごとに連絡します。			
〔成績評価の方法〕 出席 30%、参加度 10%、課題（提出・内容・検討評価）40%、期末レポート 20%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準（学則第 39 条）に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 N1 に合格している、または、同等のレベルであることが求められる。			
〔テキスト〕 「留学生のための時代を読み解く上級日本語」第 3 版（スリーエーネットワーク） その他、ハンドアウト。			
〔参考書〕			

科目種別 Course Type	選択・応用強化 Elective (Applied)	レベル Level	4 以上
科目名 Course Title	日本語能力試験 N1 (選) I JLPT N1 Preparation&Training (EL) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	川上 麻理 Mari Kawakami	単位数 Credit	2
〔テーマ・概要〕 日本語能力試験 (JLPT) N 1 合格のための対策授業			
〔到達目標〕 ・日本語能力試験 N 1 の問題形式を理解し、その形式に慣れる。 ・N 1 合格に必要な語彙力・文法力・読解力・聴解力を身につける。			
〔授業の計画〕 *試験の日程に合わせて、授業のスケジュールを変更する場合があります。 第 1 回～第 2 回 試験形式の確認 第 3 回～第 6 回 文字・語彙、文法、読解、聴解の演習 第 7 回 中間テスト (中間テストはクイズに替える場合があります) 第 8 回 中間テストのフィードバック 第 9 回～第 12 回 模擬テスト、弱点の補強、試験前の準備 *第一回試験 7 月 4 日 (日) 第 13 回 期末テスト 第 14 回 期末テストのフィードバック、日本語能力試験の振り返り、まとめ			
〔授業の方法〕 ・試験の形式を確認する。文字・語彙、文法、読解、聴解をバランスよく行い、問題の型に慣れるよう実践的なスキルを高める。 ・JLPTN 1 に欠かせない項目の解説と解答のテクニックを学ぶ。 ・模擬テストを実施し、その解答と解説を行う。 ・中間テストまたはクイズ、期末テストを行う。			
〔準備学習等の内容〕 授業だけでなく、授業外でも課題をきちんとこなしたり、自分の弱点を強化したりする努力が求められる。			
〔成績評価の方法〕 出席 30%、授業への参加度・課題の提出 20%、試験 50%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準 (学則第 39 条) に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 日本語能力試験 N 2 に合格していることが望ましい。			
〔テキスト〕 初回の授業で指示する。			
〔参考書〕 適宜、紹介する。			

科目種別 Course Type	選択・応用強化 Elective (Applied)	レベル Level	3 以上
科目名 Course Title	日本語能力試験 N2 (選) I JLPT N2 Preparation&Training (EL) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	遠藤 樹子 Shigeko Endo	単位数 Credit	2
〔テーマ・概要〕 日本語能力試験 N2 合格のための対策授業			
〔到達目標〕 ・日本語能力試験対策の問題形式を理解し、その形式に慣れる。 ・N2 に合格するのに必要な言語知識を身につける。 ・日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができるようになる。			
〔授業の計画〕 ＊試験の日程に合わせて、授業のスケジュールを変更する場合があります。 第 1 回 ミニ模擬テスト（試験形式、レベルの確認） 第 2 ～ 8 回 文法、文字・語彙、読解、聴解の演習 第 9 ～ 12 回 模擬テスト、弱点の補強、試験前の準備 第 13 回 期末テスト 第 14 回 期末テストのフィードバック・総まとめ ＊第 1 回試験 7 月 4 日（日）			
〔授業の方法〕 試験形式を確認し、文法、文字・語彙、読解、聴解それぞれの力を伸ばすとともに、問題の型に慣れるよう繰り返し練習する。			
〔準備学習等の内容〕 宿題の提出や毎回のクイズのための準備が求められる。			
〔成績評価の方法〕 出席 20%、期末試験 30%、小テスト 20%、課題の提出 20%、授業への参加度 10%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準（学則第 39 条）に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 日本語能力試験 N3 に合格していることが望ましい。			
〔テキスト〕 初回の授業で指示する。			
〔参考書〕 適宜、紹介する。			

科目種別 Course Type	選択・応用強化 Elective (Applied)	レベル Level	2 以上
科目名 Course Title	多読 (選) I Extensive Reading (EL) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	川上 麻理 Mari Kawakami	単位数 Credit	2
〔テーマ・概要〕 本を楽しみながらたくさん読む。			
〔到達目標〕 ・本を読む楽しさを経験し、たくさん読む習慣をつける。 ・たくさん読んで、日本語の力をつける。 ・いろいろな活動を通して、読むことへの関心や意欲を高める。			
〔授業の計画〕 第1回 多読のオリエンテーション、本の紹介 第2回～第13回 本を読む、アクティビティ、個別面談 第14回 授業のまとめ			
〔授業の方法〕 ・自分のレベルに合った本を選んで、多読のルールを考えながら読む。 ・自分の読み方や本の選び方について、教師と相談しながら読み進めていく。 ・授業の時だけではなくて、家でもできるだけたくさん読む。 ・読み終わったら、多読ノートに感想などを書く。 ・読んだ本の内容や表現について、クラスメートや学生ボランティアと話し合う。			
〔準備学習等の内容〕 自主的に本を読みましょう。 多読ノートを書くことを宿題とします。			
〔成績評価の方法〕 出席 50%、授業への参加度 30%、課題の提出 20%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 自分のレベルに合った本を選ぶことが大切です。			
〔テキスト〕 日本語学習者のために作られた『にほんごよむよむ文庫』ほか多読図書 *2021年度前期の授業のために新しい本を用意します。			
〔参考書〕 授業で紹介する本だけではなくて、図書館や本屋で自分で探した本を読むこともできます。			

科目種別 Course Type	選択・応用強化 Elective (Applied)	レベル Level	3 以上
科目名 Course Title	ロールプレイ (選) I Role-play (EL) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	川上 麻理 Mari Kawakami	単位数 Credit	2
[テーマ・概要] ソーシャルスキル、日本語・日本文化の知識、状況に合った話し方、想像力・発想力			
[到達目標] ・クラスメートと協力して演劇、テレビ番組、読み聞かせの絵本などの中から1つの作品を作ることを通して、おたがいの考えを理解できるようになる。 ・スクリプトを細かく分析し、日本語や日本文化を深く知る。 ・日本語の音声についてよく考えて、状況に合った話し方ができるようになる。 ・シアターゲームやインプロを通して、想像力や発想力を身につける。			
[授業の計画] 第1回 オリエンテーション、シアターゲーム、過去の作品を見る 第2回～第3回 作品のテーマを考える、インプロ 第4回～第12回 スクリプト作成、演技やセリフの練習、作品の宣伝 第13回 作品発表リハーサル 第14回 作品発表、ふりかえり			
[授業の方法] ・クラスメートと協力して、作品のテーマを考え、スクリプトを作成する。 ・セリフを何度も練習しながら覚える。 ・身体を動かして演じる練習をする。 ・衣装、小道具、音響、宣伝の準備をする。 ・完成した作品を発表する。			
[準備学習等の内容] 必要なときに連絡します。			
[成績評価の方法] 出席・授業への参加度 50%、課題の提出 20%、発表 30%			
[成績評価の基準] 成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
[必要な予備知識／先修科目／関連科目] 一人一人が積極的にアイデアを出し合うことが大切です。 自分の得意なことを、作品作りに生かしてください。			
[テキスト] 初回の授業で指示します。			
[参考書] なし			

科目種別 Course Type	選択・応用強化 Elective (Applied)	レベル Level	5 以上
科目名 Course Title	ビジネス日本語 (選) I Japanese for Business (EL) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	山下 順子 Junko Yamashita	単位数 Credit	2
〔テーマ・概要〕 ビジネス場面で求められるコミュニケーションのための日本語能力			
〔到達目標〕 ・自己分析や企業研究活動を通して、就職活動に向けた日本語を身につける。 ・ビジネスシーンで、場面や状況に応じて適切な日本語が表現できる。 ・会社内のコミュニケーション（メール文書、電話対応）を日本語で適切に行える。			
〔授業の計画〕 第1回 オリエンテーション、自己紹介 第2～4回 自分を知る・表現する（自己分析、自己アピール） 第4～9回 ビジネス文書（メール、報告書、封書） 第10～14回 ビジネス会話（会話、電話） ※うち1回は社会人との交流企画を予定 第15回 全体の振り返り ※参加者の状況や交流企画によって内容や進度を変更することがあります			
〔授業の方法〕 ・就職活動に先立って自己分析を行い、自己の適性やキャリア形成を深める。 ・ビジネスシーンの中でも会話や文書作成時に必要な日本語を、タスクを通して練習する。 ・実際に日本の企業で働く社会人との交流を通して、働く際のイメージを膨らませる。 ・BJT の問題や関連教材を用いて、語彙や表現を学ぶ。			
〔準備学習等の内容〕 授業毎に適宜指示する。			
〔成績評価の方法〕 出席 20%、小テストや課題 50%、試験 20%、クラスの参加度 10%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準（学則第 39 条）に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 中級レベルの学習を終えていることが求められる			
〔テキスト〕 『留学生のためのビジネス日本語シリーズ—人財—』から必要な資料を適宜配布します。			
〔参考書〕			

科目種別 Course Type	選択・応用強化 Elective (Applied)	レベル Level	2, 3
科目名 Course Title	日本事情 (選) I Contemporary Topics in Japanese Culture & Society (EL) I	開講時期 Term	前期 (Spring)
担当者名 Instructor	片山 智子 Tomoko Katayama	単位数 Credit	2
〔テーマ・概要〕 いま にほんしゃかい し ぶんか ちり にほんじん せいかつ しゃかい で き こと ・今の日本社会を知るために、文化や地理、日本人の生活スタイル、社会の出来事などについて学びます。 ・興味があるテーマについて、調べます。			
〔到達目標〕 いま にほん きほんてき じょうほう し ・今の日本についての基本的な情報を知ります。 ・日本の文化や社会を深く知るために、自分で選んだテーマについて、調べて発表します。			
〔授業の計画〕 学生がくせい きょうみ かによって、変わることがあります。 だい しゅう だい しゅう 第1週～第5週 にほん じぶん し はな あ ・日本について、自分が知っていること、知りたいことについて話し合います。 ・日本の文化や社会についての基本的な情報を知ります。 ・自分の国と比べてみます。 だい しゅう 第6週～ ・テーマを決めて、調べて、発表します。(ペアまたはグループで)			
〔授業の方法〕 にほんご えいご つか じゅぎょう えいご せんせい にほんご はな ・日本語と英語を使って授業をします。ハンドアウトは英語ですが、先生は日本語で話します。 ・ペアワークやグループワークをします。 ・毎回、授業の後でリアクション・ペーパー「振り返り」を書きます(日本語 または 英語)。 ・自分で調べたことを発表します(日本語)。			
〔準備学習等の内容〕 まいしゅう じゅぎょう あと か じょう ていしゅつ ・リアクション・ペーパーは、毎週の授業の後に書いてオンライン上で提出します。 ・テーマについての発表は、授業中にも準備の時間を作りますが、授業以外の時間も使って、よく準備をしてください。			
〔成績評価の方法〕 じゅぎょうさんかど ふ かえ はっぴょう 授業参加度：30% 振り返り 40% テーマ発表 30%			
〔成績評価の基準〕 成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.			
〔必要な予備知識／先修科目／関連科目〕 レベル2と3の学生のためのクラスです。えいご か つか よてい 英語で書いたハンドアウトを使う予定です			
〔テキスト〕 じゅぎょう わた 授業で、ハンドアウトを渡します。			
〔参考書〕 じゅぎょう しょうかい 授業で、オンラインサイトなどを紹介します。			